



平成31年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月11日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-wise.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 健治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第1四半期の連結業績(平成30年6月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第1四半期	894	196.5	3		11		26	
30年5月期第1四半期	301	71.8	153		163		108	

(注) 包括利益 31年5月期第1四半期 28百万円 (%) 30年5月期第1四半期 108百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第1四半期	4.07	
30年5月期第1四半期	17.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年5月期第1四半期	5,252	1,877	35.2	286.06
30年5月期	6,120	1,906	30.7	293.65

(参考) 自己資本 31年5月期第1四半期 1,848百万円 30年5月期 1,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期		0.00		7.20	7.20
31年5月期					
31年5月期(予想)		0.00		7.20	7.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年5月期の連結業績予想(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,800	48.6	30		21		14		2.19
通期	3,800	36.6	74		60		50		7.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年5月期1Q	7,313,900 株	30年5月期	7,250,900 株
期末自己株式数	31年5月期1Q	852,800 株	30年5月期	852,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年5月期1Q	6,448,379 株	30年5月期1Q	6,137,252 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年6月1日～平成30年8月31日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策の影響、海外の政治や金融資本市場における不確実性の影響、また世界的な地政学リスク拡大の影響等の懸念材料も多く、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、オークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び販売と富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めました。また、エネルギー関連事業では既存の低圧型太陽光発電施設販売事業に取り組むとともに、新たな収益の柱となる事業の育成にも引き続き取り組み、グループ全体の安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①オークション関連事業

当第1四半期連結累計期間は、取扱高738,219千円（前年同期間比72.7%増）、売上高604,637千円（前年同期間比277.9%増）、セグメント利益18,968千円（前年同期間は113,025千円のセグメント損失）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種別	第30期第1四半期連結累計期間							
	自 平成30年6月1日 至 平成30年8月31日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	△10,500	—	△1,287	—	—	—	—	—
近代陶芸オークション	141,800	56.8	29,008	65.7	1	212	192	90.6
近代美術PartⅡオークション	—	—	—	—	—	—	—	—
その他オークション(注)2	6,136	△79.9	1,344	△80.0	—	—	—	—
オークション事業合計	137,436	△60.0	29,065	△64.4	1	212	192	90.6
プライベートセール	600,035	823.9	570,517	872.0				
その他	748	△96.0	5,054	△74.2				
オークション関連 その他事業合計	600,783	616.9	575,571	635.6				
オークション関連事業合計	738,219	72.7	604,637	277.9				

(注) 1. 当第1四半期連結累計期間において、平成30年5月19日開催の近代美術オークションで落札された一部の作品にキャンセルの取り扱いが生じたため、近代美術オークションの取扱高及び売上高をマイナス処理しております。なお、キャンセルとなった作品は、既に別の購入希望者に販売しておりますが、当該作品の取扱高及び売上高は、当第1四半期連結累計期間のプライベートセールとして処理しております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催いたします。

3. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

i) オークション事業

当第1四半期連結累計期間は、オークション会場改装工事及びShinwa Priveの画廊スペース新設工事の時期とほぼ重なったため、オークションは、近代陶芸オークション1開催のみとなりました。

近代陶芸オークションは、古美術を含む6月開催オークションが引き続き好調であったことから、前年比で出品点数18.4%増、落札点数11.0%増、平均落札単価38.7%増となり、エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率も平均で151.0%と高水準で推移いたしました。

ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、高額作品の積極的な取り扱いに努めました。当第1四半期連結累計期間は大型案件の成約があったため、取扱高は前年との比較で823.9%増、売上高は前年比で872.0%増とともに大幅に増加いたしました。また、新たにShinwa Priveの画廊スペースを設け、お客様のニーズにきめ細やかに対応できる体制を整えました。

②エネルギー関連事業

エネルギー関連事業におきましては、50kW級の低圧型太陽光発電施設販売事業では、引き続き利回り商品としての需要があり、当第1四半期連結累計期間は、前期からの繰越分のうち10基を販売いたしました。しかしながら、経済産業省による電力の買取価格は継続的に引き下げられており、収益目線で投資対象となる新たな案件の確保が難しくなっております。

また、マレーシアにおけるPKS事業においては、当第1四半期連結累計期間は、次回出荷に向けての準備期間にあたり、製品の出荷はありませんでしたが、仕入原価等の見直しを行いました。

その他、子会社保有の太陽光発電施設による売電事業等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年比99.5%増の267,766千円、セグメント損失は、△8,675千円（前年は△42,689千円のセグメント損失）となりました。

③その他

ウェルスマネジメント分野における米国テキサス州の中古不動産物件紹介事業は、当第1四半期連結累計期間は5件の販売実績となりました。その他、高額ダイヤモンド販売事業及びミャンマー連邦共和国でのマイクロファイナンス事業は、順調に推移しております。また、各事業の販売費及び一般管理費の見直しを行う等、グループ全体の利益体質化に向けた改善に取り組みました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高894,887千円（前年同期比196.5%増）、営業損失3,499千円（前年同期は153,140千円の営業損失）、経常損失11,367千円（前年同期は163,937千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失26,235千円（前年同期は108,886千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、5,252,553千円となり、前連結会計年度末に比べ、868,267千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少1,017,666千円、商品の増加417,892千円と前渡金の増加60,213千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、3,375,121千円となり、前連結会計年度末に比べ、838,723千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少495,753千円と短期借入金の減少190,700千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,877,432千円となり、前連結会計年度末に比べ、29,544千円減少いたしました。その主な内訳は資本金の増加22,477千円、資本剰余金の増加22,477千円と利益剰余金の減少72,301千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年7月12日の「平成30年5月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,103,966	1,086,299
売掛金	420,699	241,613
オークション未収入金	269,475	6,561
商品	1,226,671	1,644,563
前渡金	393,484	453,697
その他	219,869	232,751
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	4,634,158	3,665,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,853	4,531
機械装置及び運搬具(純額)	906,273	889,709
土地	122,960	122,960
建設仮勘定	36,466	96,405
その他(純額)	12,733	24,814
有形固定資産合計	1,083,287	1,138,420
無形固定資産		
ソフトウェア	12,791	11,867
無形固定資産合計	12,791	11,867
投資その他の資産		
関係会社株式	70,600	70,600
その他	335,331	381,551
貸倒引当金	△15,347	△15,364
投資その他の資産合計	390,583	436,786
固定資産合計	1,486,662	1,587,075
資産合計	6,120,821	5,252,553
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,463	68,597
オークション未払金	498,114	2,360
短期借入金	1,966,500	1,775,800
1年内償還予定の社債	44,000	44,000
1年内返済予定の長期借入金	240,672	194,882
未払法人税等	44,047	56,277
賞与引当金	11,425	5,810
役員賞与引当金	6,739	—
その他	296,255	255,701
流動負債合計	3,207,216	2,403,429
固定負債		
社債	84,000	84,000
長期借入金	235,412	207,909
退職給付に係る負債	33,600	34,250
長期割賦未払金	557,378	543,896
その他	96,237	101,636
固定負債合計	1,006,627	971,691
負債合計	4,213,844	3,375,121

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,073,780	1,096,257
資本剰余金	680,020	702,497
利益剰余金	349,607	277,305
自己株式	△221,063	△221,063
株主資本合計	1,882,345	1,854,997
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,569	△6,758
その他の包括利益累計額合計	△3,569	△6,758
新株予約権	3,419	3,050
非支配株主持分	24,781	26,142
純資産合計	1,906,976	1,877,432
負債純資産合計	6,120,821	5,252,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年8月31日)
売上高	301,778	894,887
売上原価	187,749	636,529
売上総利益	114,028	258,357
販売費及び一般管理費	267,169	261,857
営業損失(△)	△153,140	△3,499
営業外収益		
受取利息	118	93
為替差益	258	3,281
未払配当金除斥益	137	133
デリバティブ評価益	419	932
貸倒引当金戻入額	400	-
その他	495	1,168
営業外収益合計	1,830	5,609
営業外費用		
支払利息	8,532	10,346
支払手数料	4,094	3,131
営業外費用合計	12,627	13,477
経常損失(△)	△163,937	△11,367
特別利益		
固定資産売却益	-	156
特別利益合計	-	156
特別損失		
固定資産除却損	-	155
特別損失合計	-	155
税金等調整前四半期純損失(△)	△163,937	△11,366
法人税、住民税及び事業税	△1,031	52,960
法人税等調整額	△54,011	△38,968
法人税等合計	△55,043	13,991
四半期純損失(△)	△108,894	△25,358
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	876
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△108,886	△26,235

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成30年8月31日)
四半期純損失(△)	△108,894	△25,358
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	173	△2,704
その他の包括利益合計	173	△2,704
四半期包括利益	△108,720	△28,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108,783	△29,423
非支配株主に係る四半期包括利益	63	1,360

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	159,982	134,252	294,234	7,543	301,778	—	301,778
セグメント 利益又は損 失(△)	△113,025	△42,689	△155,714	2,574	△153,140	—	△153,140

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年6月1日 至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	604,637	267,766	872,403	22,484	894,887	—	894,887
セグメント 利益又は損 失(△)	18,968	△8,675	10,292	13,917	24,209	△27,709	△3,499

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業、海外不動産事業及びマイクロファイナンス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△27,709千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。